

信頼される教師をめざして

学校ボランティアをはじめよう

5人の学生が、学校ボランティア活動を始めました。自分のできるところから、学校を支援しながら学校現場体験を積み重ね、子どもたちから先生方から学んでいこうとしています。学校ボランティア支援室は、カンファレンスをとおして皆さんの活動と「学び」を支援します。



2年に入った永井さんは、掲示の手伝いをしました。

3年 宗像 梨奈

私は今まで、子どもと関わる様々なボランティアに参加してきました。しかし、実際の学校に行くという機会はありませんでした。そんな時に大学の掲示板で見つけたのが学校ボランティアでした。

私は、2年生の春休みに杉妻小学校へ学習支援をしに行っていました。そこでは、学校での子どもたちとの関わり方や、どうしたら子どもたちの学習でのつまずきを解決できるのかなどを考えさせられました。

色々な学校を見てみたいという思いから、この春からは保原小学校で活動することにしました。今までの活動から、学校での教師の役割や、子どもたちがどのように学校で学んでいるのかを少しずつ知っていくことができていると思います。

学校ボランティア支援室の先生はとても親切で、活動していく上でのヒントをくださるので、不安が少ない状態で活動に望めます。学校ボランティアで発見した課題は、解決に努めていくことで、今後の糧になることは間違いないと思います。

4年 永井あやか

私は、3年の後期から学校ボランティアを始めました。自分が教員に向いているのか、現場での活動を通して考えたかったのが一番の理由です。

学校ボランティアは学生が自主的に行う活動です。活動する時間・場所・内容などは、ほとんど自分で決めることができます。自由度が高いという点で、教育実習とは違うよさがあります。

私は通常学級に在籍する発達障がい児と関わりたいという思いがあり、障がい児を含めた学級全体の支援を行いました。毎回さまざまな課題に出会い、そのたびに先生方に相談したり、文献研究を行ったりして、児童にとってよりよい方法を探究しました。その中で実感を伴った学びを得ることができ、教員になりたいという思いも一層強くなったと感じています。

教員を志す人はもちろん、教員になるか迷っている人にも学校ボランティアをおすすめします。優しい先生方が相談に乗ってくれるので、気軽に学校ボランティア支援室を訪ねてください。



2年に入った宗像さんは、子どもの「学び」を観察しています。

【問合せ先】 学校ボランティア支援室は、疑問、困りごと、要望、相談に応じます。

(理工107 e-mail: 齋藤幸男 ysaito@educ.fukushima-u.ac.jp

二瓶洋允 hnihei@educ.fukushima-u.ac.jp)

【相談時間】 月～金 (9:00～16:30)

【体験訪問】 水曜日は、保原小学校で全校『学び合い』を体験できます。



特学に入った浅野君は、付き添い支援などを行っています。

3年 浅野 友輔

私は、この春から週一回、清明小学校の特別支援学級（以下特学）で活動しています。内容としては、T・TのT2として、子どもたちの学習支援や特学の子どもたちが通常学級に入る際のサポートが挙げられます。特に後者は大変ですが、とてもやりがいを感じます。

私はよく三年生の男の子に付くのですが、体育などにおいて、校庭や体育館といった広い空間では、何をやっていいのかわからずその場から離れてしまうことなどが、その場合に、どのような言葉掛けをしたらいいのか、どのような行動をとればいいのか毎回悩まされています。

しかし、それは、私に考えさせるきっかけをくれました。その子はどういう子で、どういった支援が必要としているのかなど、先生と話したことも踏まえながら自分の目でその子の実態を把握して、どういった支援につなげていくのか考えていくことが私の今後の課題です。そのためにもまず子どもたちと積極的にかかわって、一人一人の実態を把握していきたいと思っています。



大木君は、福島三中で理科授業、クラブ活動支援をしています。



渡邊さんは、福島三小で3年生の支援をすることになりました。

3年 大木 暁都

学校ボランティアを始めたきっかけは、先に行っていた友人からの誘いでした。「学校で子どもと関わることができる」そんなこと聞き、すぐに参加したくなりました。自分は理工という身であるため、なかなか子どもと関わることも、そのような機会に出会うこともとても少ないです。先生方に無理を通していただき、このボランティアに参加することになりました。

実際に中学校に行き、最初に活動したことは部活動のお手伝いでした。はじめは緊張していた子どもたちも、積極的に話しかけることで最後には打ち解けてくれました。帰りに「先生！また来週ね！」と言ってくれた時は、このボランティアに参加することができ、本当によかったと思いました。次回からは本格的に授業のサポートを行っていくようになります。単に授業中の補佐だけではなく、授業前や授業後の先生方のお手伝いします。このような学生ではなかなか体験できないことを最大限に活用できるよう、できることをできるだけやっていきたいと思っています。

4年 渡邊 愛梨

私が学校ボランティアを始めた動機は、実際に児童とかかわりながら学びを深めていきたいと思ったからです。大学では座学が中心であり、実際に児童とかかわる機会がありませんでした。児童とかかわりながら実態を知ったり、指導のあり方を学んだりしたいという思いが強くあったため取り組むことを決めました。

私は現在、福島第三小学校でボランティア活動に取り組んでいます。以前にも小学校でボランティア活動に取り組んでいたことがありますが、個人的に受け入れてもらい活動していたため、疑問や悩みを相談できる人がいませんでした。現在では、大学を通して学校ボランティアを行っているため、先生方にカンファレンスをしてもらうことができます。そのため、疑問や悩みが生まれても放置せず、解決策を見つけることができます。また、学校の場所や活動内容などを自分の希望に合わせてもらったことも、魅力の一つです。自分の目的に合った場所で活動することができ、充実した学びを実感しています。

これからも、児童の心身に寄り添うことのできる教師を目指して頑張ります。